

令和7年度 第1回介護・医療連携推進会議 運営報告

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

いつでもふわり訪問ステーション活動報告

1. 利用状況（令和7年2月1日～令和7年7月31日）

- ①ホスピス・ケアふわり入居サービス利用者件数 : 29件
- ②自宅でのサービス利用者件数 : 0件
- ③平均要介護度 : 3.6

2. 令和7年7月の利用状況

- ①ホスピス・ケアふわり入居サービス利用者件数 : 18件
- ②自宅でのサービス利用者件数 : 0件
- ③平均要介護度 : 3.6

3. 利用者の概要と訪問介護件数（令和7年2月1日～令和7年7月31日）

介護度	定期訪問	随時訪問
要介護1	0	0
要介護2	1,814	148
要介護3	7,204	2,081
要介護4	8,397	794
要介護5	6,519	168
合計	24,362	3,203

4. 利用者の訪問看護の利用状況

利用者の身体状況に応じ週に1～3回程度定期的に訪問看護実施
利用者の病態によっては毎日訪問しているケース（時期）もある
定期巡回における介護保険での随時（臨時）対応はほぼなく（年に数件程度）、
病態悪化時は医療保険における特別指示により訪問看護を実施するケースが多い
入居者で医療保険の対象となる疾患がある方は医療保険優先で訪問看護を実施

介護看護一体型運営の優位性、介護と看護の連携を密に行うことで、利用者（ご家族）にとって、よりよいサービスが提供できるよう取り組んでいます。

5. 職員数（令和7年8月1日現在）

看護師 8名

介護員 16名（介護福祉士14名、実務者研修1名、初任者研修1名）

6. 勉強会・研修会（令和7年6月～令和8年2月）

月日	研修テーマ	研修内容
R7. 6	福祉車両の使いかた	被災時に備えた福祉車両の使い方を実技を通して学ぶ。
R7. 7	摂食、嚥下	トロミの必要性、今利用者様が食べている物キザミ食やトロミの付いている飲み物を実際に食べてみて工夫できる部分を考える。
R7. 8	トランス、 ポジショニング	相手に恐怖や痛みを与えない介助方法を見直す。縛瘡に関する知識を持ち利用者様がより良い形で眠れるように
R7. 9	着衣、着脱(着物も)	エンゼルケアの際に着物を着せることが増えていた為、YouTube 若しくはわかる人に講師を依頼し習得する。
R7. 10	エンゼルケア	現在思考中
R7. 11	感染対応 (ロールプレイング)	現在思考中
R7. 12	スキンケア	現在思考中
R8. 1	アンガーマネジメント	現在思考中
R8. 2	現在思考中	現在思考中

7. 非常災害対策への取り組み

令和7年度 BCP 机上訓練（大規模地震、停電、津波など想定）6月17日実施

令和7年度 防災訓練（日中の火災想定）8月27日実施予定

令和7年度 7月30日津波警報発令時1階に住まれている入居者様を2階へ避難

8. 地域との交流、令和7年度の取り組み

- ・町内会美化活動の継続的な参加
- ・町内会イベント行事への参加

9. レクリエーションについて

開催月	実施内容
4月	お花見
5月	外出レク
6月	ピザ作り
7月	流しソーメン

会議参加者（12名）

外部参加者

釧路市中部包括センター	看護師
ソーシャルワーカー	後見人
釧路市入江町内会	会長
利用者ご本人	2名
利用者ご家族	2名

内部参加者

いつでもふわり訪問ステーション	所長
いつでもふわり訪問ステーション	看護師
いつでもふわり訪問ステーション	サービス提供責任者（介護員）

法人からの参加者

ホスピス・ケアふわり	施設長
ホスピス・ケアふわり	生活相談員

会議の経過

1. 運営報告に沿って運営状況等を説明
2. 質疑応答
 - 1) 津波警報時の対応状況や問題点の有無などについて
 - 2) ヒヤリハット・インシデントレポートの報告状況や内容などについて
3. 利用者（家族）からサービス内容の感想等について
特段の改善要望などはなかったが引き続きより良いサービスの提供に努める